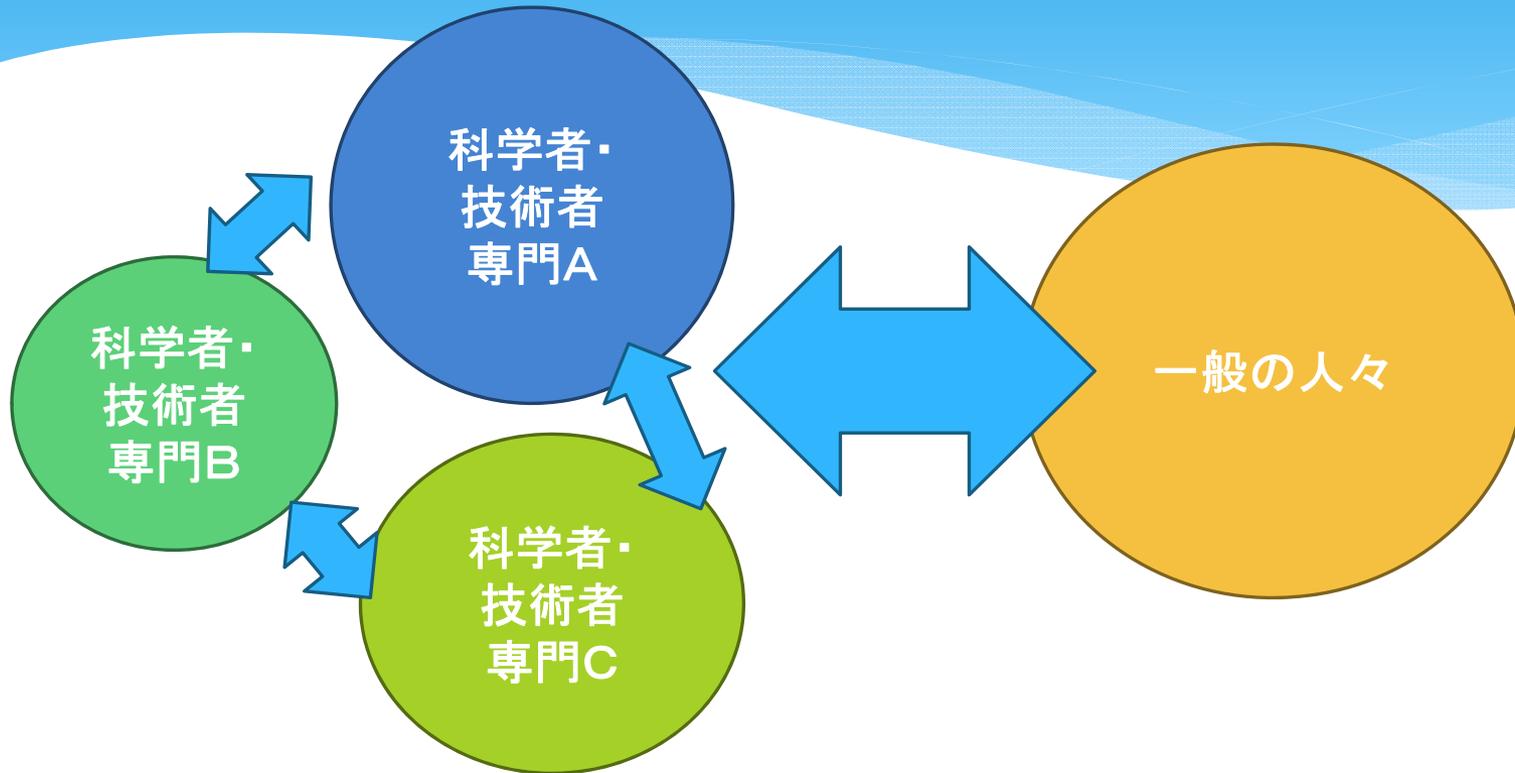


先進理工学科 UECパスポートプログラム

サイエンス・ コミュニケーション演習

3年次・4年次「上級科目」

サイエンス・コミュニケーションとは



サイエンス・コミュニケーションとは、科学技術に関する知識の理解を共有しあうこと

サイエンス・コミュニケーション演習

受講生による講義紹介

<http://www.passport.uec.ac.jp/uecpp2012/sce2012.html>

上記ホームページより

『科学を分かりやすく伝えること』

サイエンスコミュニケーションという言葉聞いてピンと来ない人も多いのではないだろうか。一般の人にも科学について分かりやすく伝えていくことで、研究者と一般の人との間にある知識量の差を少しでも埋めていき、その重要性や面白さを理解し興味をもってもらうことがサイエンスコミュニケーションをとる最大の目的である。この講義では科学について科学を学んでいない人に向けてどのように伝えていくか3人の講師の先生たちが違った立場からお話してくれた。研究者の考えをいかにして人々に伝えていくか。また研究者としてどのようにその面白さを伝えていくか。普段受けている講義とは一味違った、考えさせられる授業である。(3年 A.Y.さん)

本科目の目的・授業内容

目的

- * 科学の専門的な知識を他者に伝える具体的なアプローチの例を学ぶこと

授業内容

- * 複数の学外の専門講師による講演を聴講し、サイエンスコミュニケーションの具体的な例を知る
- * 講演の前後に各講師に指定された課題により、サイエンスコミュニケーションを実践する

2013年度 講義日程

9月17(火) 3-4限

* 理系漫画制作室 はやのん 先生

9月18日(水) 3-4限

* 理化学研究所 足立枝実子 先生

9月19日(木) 3-4限

* 産業技術総合研究所 下村正樹 先生

講義 1. はやのん 先生 『科学を伝える言葉力』

講師プロフィール: 琉球大学理学部物理学科卒業後、理系の漫画家として十数年、雑誌や新聞で漫画を連載。現在は千葉大学大学院教育学研究科修士課程にて、言語教育学・英語ライティングを研究している。

現在は東北大学天文学教室「頭脳循環プログラム」など、大学・研究所の研究内容を一般の人々に伝える漫画冊子の制作を主な仕事としている。理系の研究内容を「絵と文章を使って」あらゆる対象者に伝えるために、何が必要なのか、どうしたらより良く伝わり、理解してもらえるようになるかを探究している。

WEBサイト <http://www.hayanon.jp/>

FBページ <https://www.facebook.com/hayanon>



↑ はやのん理
系漫画制作室
より転載

講義 1. はやのん 先生 『科学を伝える言葉力』

講義概要(予定):

もはや「研究者は研究だけをしていれば良い」という時代ではなくなった。自分が関わっている研究を、他の人にいかにわかりやすく説明するかという能力が、理系の人々には求められている(なぜでしょうか?)。

専門家が「わかっていること」を「正しく伝えられる」とは限らない。難しいことを、何も知らない相手に伝えようとするとき、どんな失敗がおこりうるのか? どうしたら正しく伝わるのか? を本講座では考える。

自分たちが取り組んでいる研究・プロジェクトの意義はどのようなものなのか。どのような魅力があるのか。興味を持ってもらえるような語りかけ、親しみを感じてもらえるような話し方、そして、限られた文字数・機会の中で、正確に、最大限の情報を伝える文章ライティング術を、漫画を見たり、演習問題に取り組みながら考える。

講義 1. はやのん先生 『科学を伝える言葉力』

受講者へのメッセージ:

せっかく直接会って話せる機会になりますので、「知りたいこと」がある人はぜひ質問のメール、講義へのリクエストをメールしてください。

特に将来、科学、理系分野の広報関係の仕事をしたいと思っている人は、質問をしてください。

講義内容は主に「文章」のことを取り扱います。演習は短い文章を書くものです。漫画を描く必要はありませんので、絵を描かない人でも大丈夫です。

講義では、皆で遠慮なく話し合えるようにしたいと思います。

はやのん先生の連絡先: hayanon@hayanon.jp

講義 2. 足立枝実子先生

Webで科学を伝える

理化学研究所 広報室 Webチーム担当

講義概要:

理化学研究所では、より多くの方に理研の活動を知っていただくため、Webサイト・YouTube・Twitterを通じて科学を伝える取り組みも行っています。各メディアの傾向から、わかりやすく魅力的に科学を伝えるにはどうしたらよいか、一緒に考えます。

理化学研究所WEBサイト

<http://www.riken.jp/>

講義 2. 足立枝実子先生 Webで科学を伝える

事前課題: 9月10日(火)締め切り

1. 科学を取り扱っているWebサイト・ホームページを、人に紹介するパワーポイントのスライドを3枚程度で作成してください。また、どんな属性の人を対象にして紹介するのもか、記述してください。紹介する対象は、男性か、女性か、何歳くらいか、理系か、文系か、どんな職業か、趣味は何かなど、自由に設定していただいて結構です。
選んだサイトについて、どんなサイトなのか、何が魅力的なのか、あなたに紹介された人がそのWebサイトを見てみたくなる内容にしてください。
提出されたスライドを使用して、演習中に3分で発表をお願いし、ディスカッションの題材とします。
2. 理化学研究所のWebサイトを見て、別添のアンケートに答えてください。講義の中で、いただいた質問等にお答えします。
理化学研究所WEBサイト <http://www.riken.jp/>

講義3. 下村正樹先生

アウトリーチ活動～双方向コミュニケーションを目指して～

産業技術総合研究所 広報部 総括主幹(サイエンスコミュニケーター)

講義概要(予定):

アウトリーチ活動には、一体どんな活動が含まれるか。誰も確固とした答えを持っていないように感じます。一口に「科学者が国民一般に対して行う双方向的なコミュニケーション活動」といっても研究内容や対象によって様々な活動が考えられます。「アウトリーチ活動」をちょっと広義に捉えて、産業技術総合研究所が行っている事例をいくつか紹介します。その後、受講者の企画(課題)を材料として、アウトリーチ活動とは、双方向のサイエンスコミュニケーションとはどうあるべきかを、一緒に考えてみます。

産業技術総合研究所WEBサイト

<http://www.aist.go.jp/>

講義3. 下村正樹先生

アウトリーチ活動～双方向コミュニケーションを目指して～

事前課題: 9月10日(火)締め切り

1と2、あわせて、多くても1ページ(A4)以内で提出。演習時に簡単に報告してもらう予定。

1. 公的研究機関の一般公開、あるいは各地で開催される「青少年のための科学の祭典」などの子供(または一般国民)向け科学イベントを1ヶ所見学して、興味をもった出展1件のタイトルと内容を紹介する。また、受講者自身が興味を持った点、感心した点(工夫など)、改善したほうがよいと思った点などあれば紹介する。(ただし、スタッフと来場者の双方向のコミュニケーションがとれる出展を選ぶこと。)
2. 自分の所属する研究室、または電通大で興味のある研究室を1つ選び、この演習の受講者を対象に想定して簡単な紹介文を作成する。その研究室が1で見学した一般公開や科学イベントなどに出展すると仮定して、スタッフと来場者の間で双方向のコミュニケーションがとれる企画を考える。研究室の研究そのものでなくても良いが、その研究分野に関係するものが望ましい。

講義3. 下村正樹先生

アウトリーチ活動～双方向コミュニケーションを目指して～

注意)大学のオープンハウスは一般向けではなく、高校生向けが多いので、対象からは除外する。見学を予定していたイベントが中止などの場合、常設の科学館の見学で代えてもよい。ただし、見学予定イベント名と参加できなかった理由は報告すること。

参考情報

○公的研究機関の一般公開

<http://www.shokabo.co.jp/keyword/openday.html>

○青少年のための科学の祭典

<http://www.kagakunosaiten.jp/country/schedule.php>

全国大会7/27、28、科学技術館(東京都千代田区)

<http://www.kagakunosaiten.jp/convention/guide.php>

東京大会 in 小金井 9/8、東京学芸大学(小金井キャンパス)

<http://kagakunosaiten.koganei-net.com/>

ここに挙げた以外でも、公的研究機関の一般公開や子供(または一般国民)向け科学イベントであれば、選択は自由。

受講申し込み方法

パスポートプログラム連絡窓口

contact@passport.uec.ac.jp

宛に**学籍番号**、**学科**、**コース**、**氏名**を記載の上、以下の申し込み内容のメールを送ってください。申し込み内容は参考のため**講師の先生方**にまとめて送ります。

1. 受講申し込み理由
2. 将来どのような職業に携わりたいか
3. 自己PR(任意)

申込み期限 7月26日(金)17時